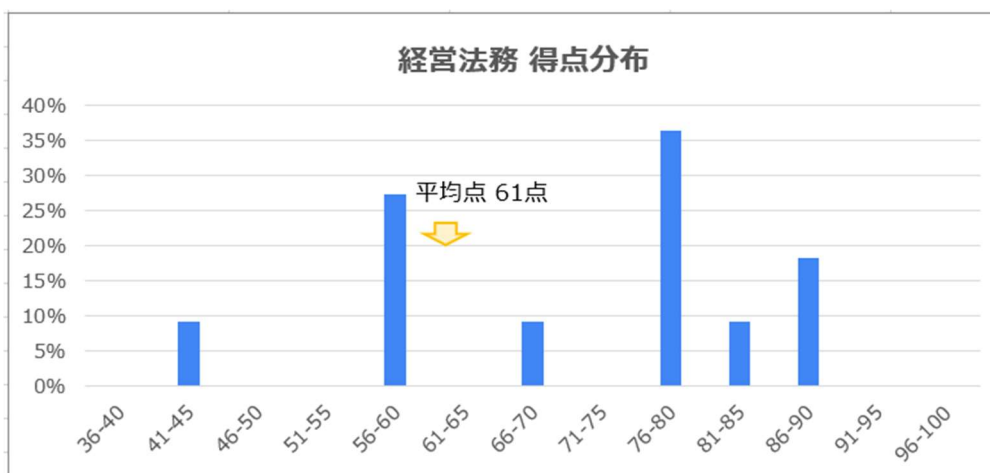


一発合格まとめシート チェックテストマラソン 2023 データ&総評

<経営法務>

1. データ

平均点 : 61.0 点



2. 正答率の低かった問題と復習のポイント

問題番号	正答率	コメント
第 8 問	42%	持分会社と組合に関する問題です。組合よりも出題頻度が高い、持分会社の学習を優先して取り組むようにしましょう。ただし、覚えるポイントも多いので、まずはまとめシートの表で、社員の責任と出資を中心に覚えるようにしてください。
第 17 問	9%	独占禁止法に関する問題です。不正競争防止法と比べると出題頻度は下がりますが、課徴金の対象となる不公正な取引方法などの基本ポイントは試験前には押さえるようにしておきましょう。
第 21 問	42%	契約に関する問題です。民法その他は、出題頻度が広いうえに難易度も高いため、学習の進捗度に応じて、チェックテストの基本的な問題や過去問などの絞って学習するようにしましょう。

3. 総評

経営法務は、本試験での難易度が高く、法律分野ということで範囲も広いいため、チェックテストでは極力基本的な問題に絞って出題をしました。点数が振るわなかった方も、暗記が中心の科目ですので直前期でも学習次第で 60 点を超えることはできますので、基本問題は必ず復習するようにしてください。

<会社法> 全体的に正答率も高く、基礎がしっかりと押さえられていると思います。余裕のある方は、正解以外の選択肢もなぜ間違いかを説明できるようにしてみてください。本試験での対応力が上がります。

<知的財産権> こちらも基本的な問題は押さえられているようです。知的財産は特許～商標まで横断的に問題が出題されることも多いので、ぜひ横串をさして覚えるようにしてみてください。詳しい学習法はこちらの動画でもご紹介しています。https://www.youtube.com/watch?v=djOSs_kSOMQ

<民法> 会社法や知的財産権よりは優先度は低いので、まずは会社法や知的財産権をしっかり押さえてから民法その他を押さえるようにしましょう。本テストでもまず正答率 6 以上の問題を復習するのがおすすめです。

<参考資料>

問題ごとの正答率

問題番号	正答率
1	8
2	8
3	8
4	7
5	9
6	9
7	7
8	4
9	7
10	6
11	8
12	9
13	7
14	6
15	8
16	6
17	1
18	7
19	9
20	6
21	4
22	5
23	6
24	5
25	6

※正答率の表記について

0～10%台 1

20%台 2

⋮

90%以上 9